

平成23年10月

平成23年	7月	～	9月期	実績
平成23年	10月	～	12月期	見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	6
建設業の推移	10
小売業の推移	14
サービス業の推移	18
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	22

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

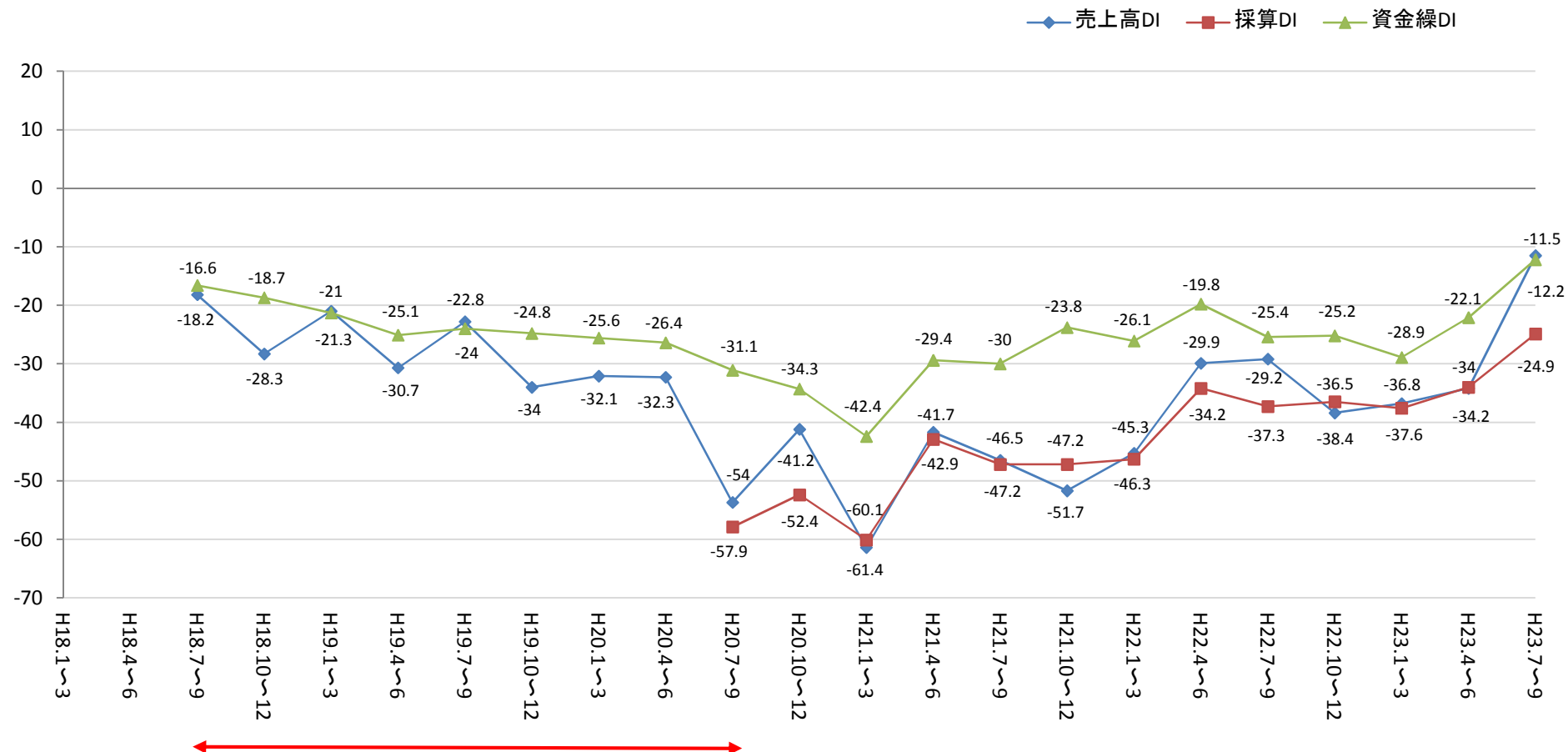
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[ 岩手県 産業全体 ]






### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについて全国連にはデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成21年 10～12月	平成22年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成23年 1～3月	4～6月	7～9月	(見通し) 平成23年 10～12月
製 造 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄曇	 薄曇	 曇
建 設 業	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 薄曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

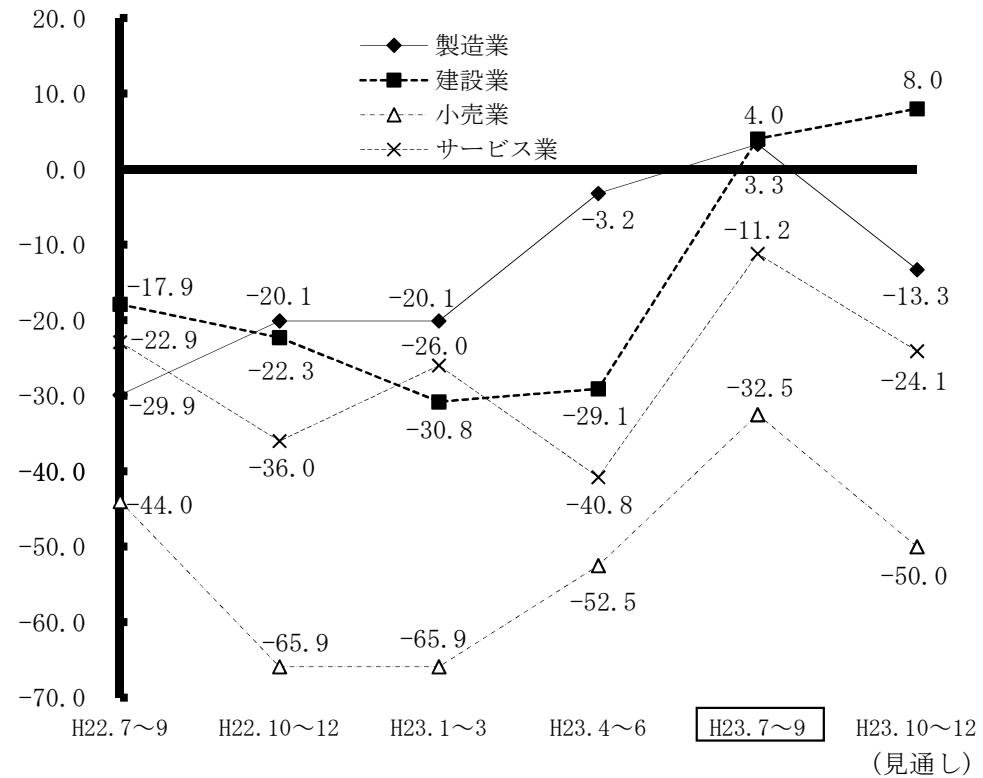
## 売上高

今期は、全業種において、D・Iが上昇しました。特に、建設業では、33.1ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。このことは、平成15年1月～3月期の調査時以降で最も高い水準にまで回復したことになります。

また、製造業も平成19年4～6月期以来、4年ぶりのプラスとなっています。さらに、前期見通しでは、下降を予想していた小売業も、20.0ポイント上昇の、△32.5まで改善されており、小売業においても需要の回復傾向がみられております。

来期は、建設業のみが引き続き、上昇の予想をしていますが、それ以外の業種では、下降の予想であり、特に、小売業では17.5ポイントの下降で再びマイナス幅が拡大し、△50.0となる見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



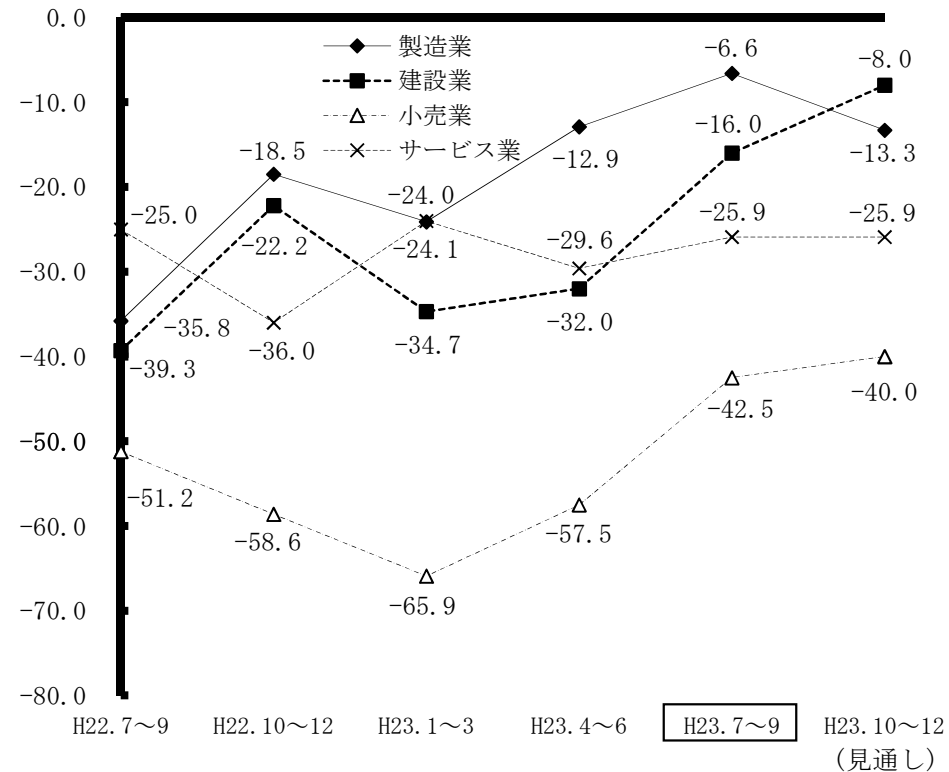
# 全産業の推移

## 採算

今期は、全業種において、売上高D・Iが上昇していることもあり、採算D・Iもすべての業種において、上昇しました。特に、建設業が16.0ポイント、また、小売業でも15.0ポイントの大幅な好転となりました。

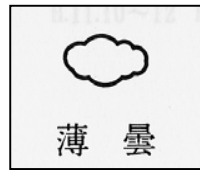
来期は、製造業のみが、6.7ポイントの下降見通しですが、建設業及び小売業が3期連続となる上昇の見通しであり、サービス業が横ばいの見通しとなっています。

※採算は各業種とも経常利益



## 売上高

<今 期>



薄曇

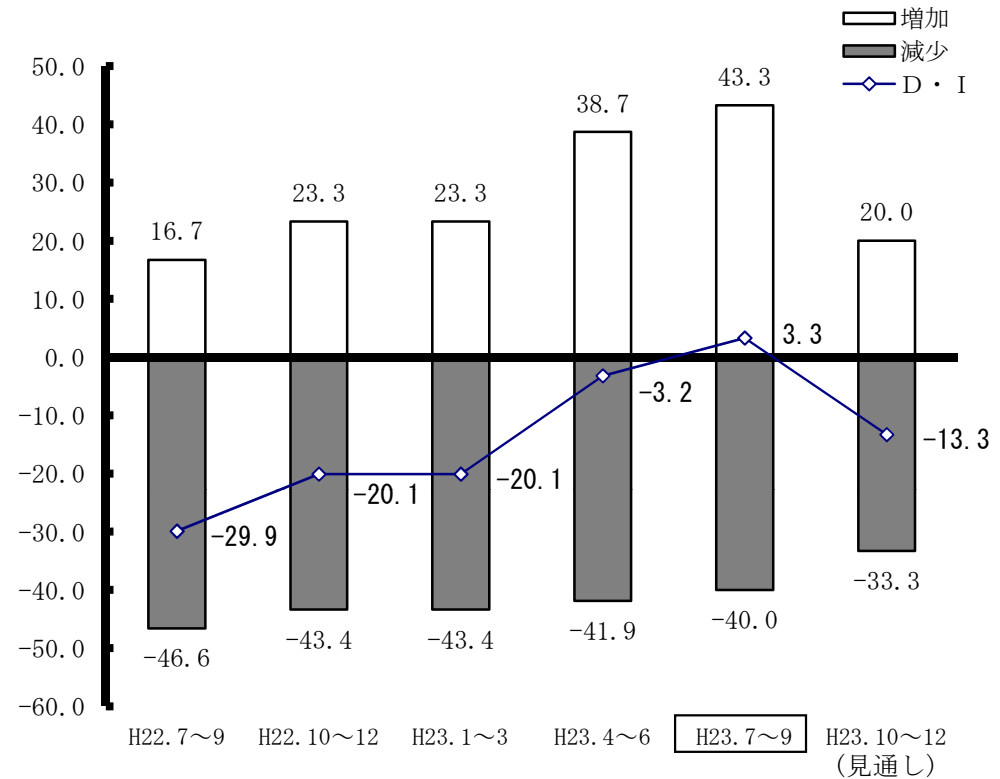
<来期見通し>



曇

前期見通しでは、12.8ポイント上昇の9.6となっておりましたが、実際は、売上高減少企業が前期見通しより増加したことによって、3.3にとどまりました。しかし、売上高D・Iは平成19年4～6月期以来、4年ぶりにプラスへ転じています。

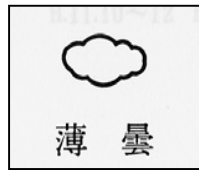
来期は、売上高の増加を予想する企業の大幅な減少により、△13.3が予想されていることから、再びマイナスに転じる見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

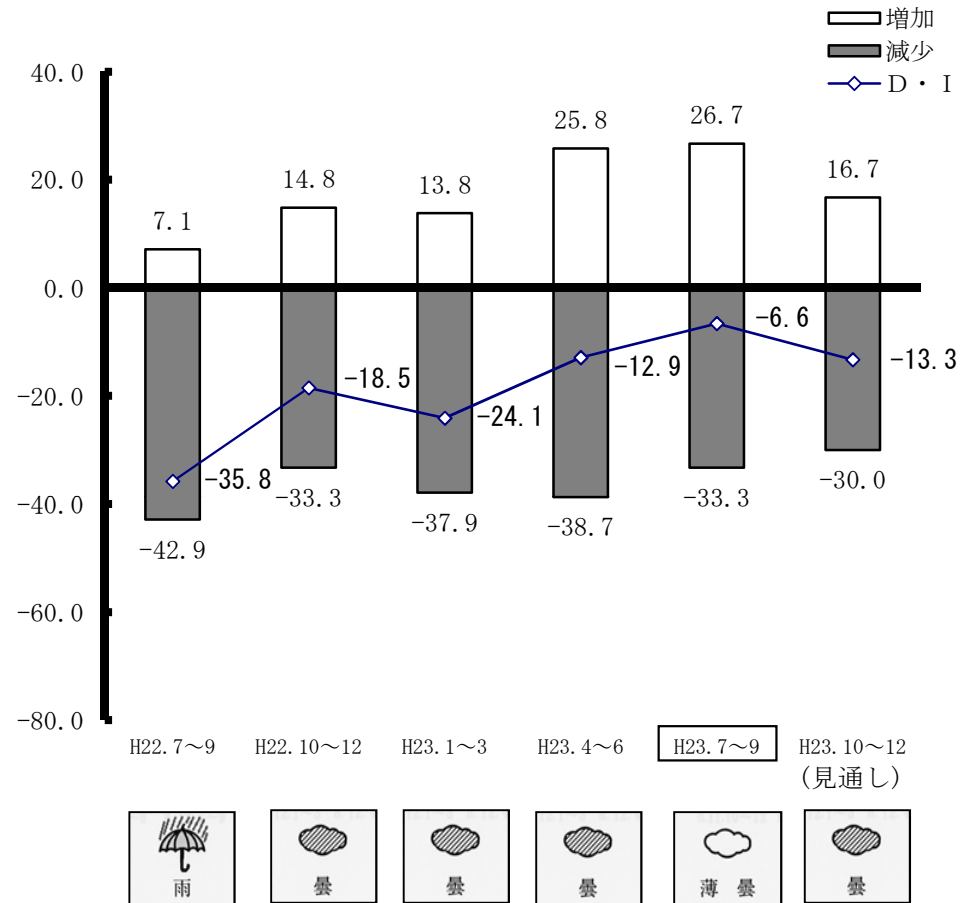


<来期見通し>



今期は、好転企業の増加と悪化企業の減少によって、△6.6まで回復し、業況天気図も曇りから薄曇りへと移行しています。

来期は、採算の好転企業割合が大幅に減少することにより、6.7ポイント下降して、△13.3となる見通しです。



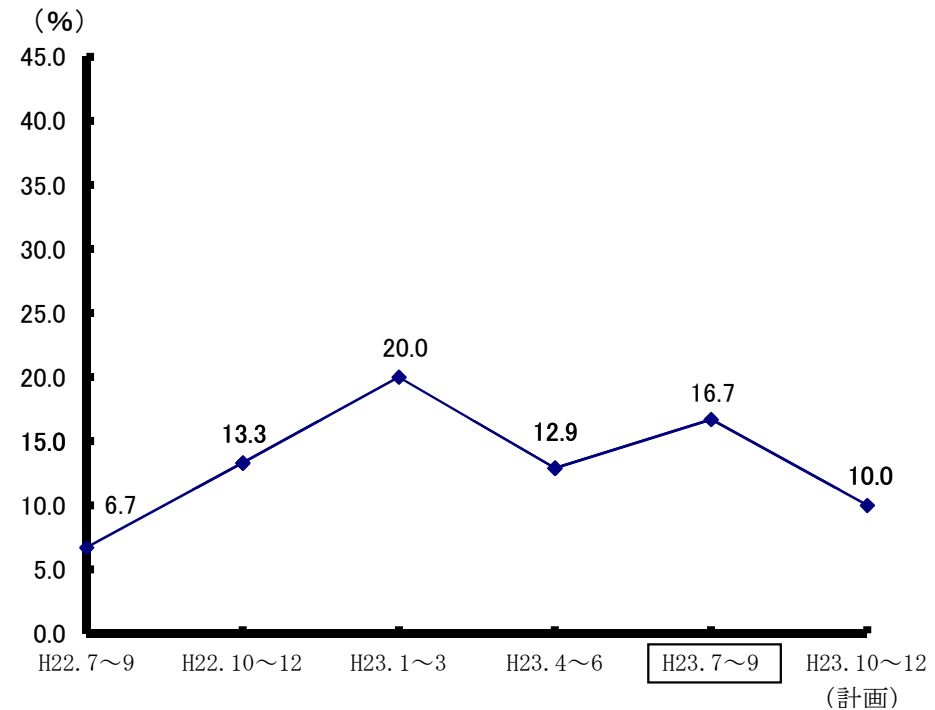


## 設備投資

前期見通しでは、25.8%の企業において、設備投資が計画されておりましたが、実際は、16.7%にとどまりました。

来期は、設備投資企業の割合は、さらに減少することが予想されており、10.0%になると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

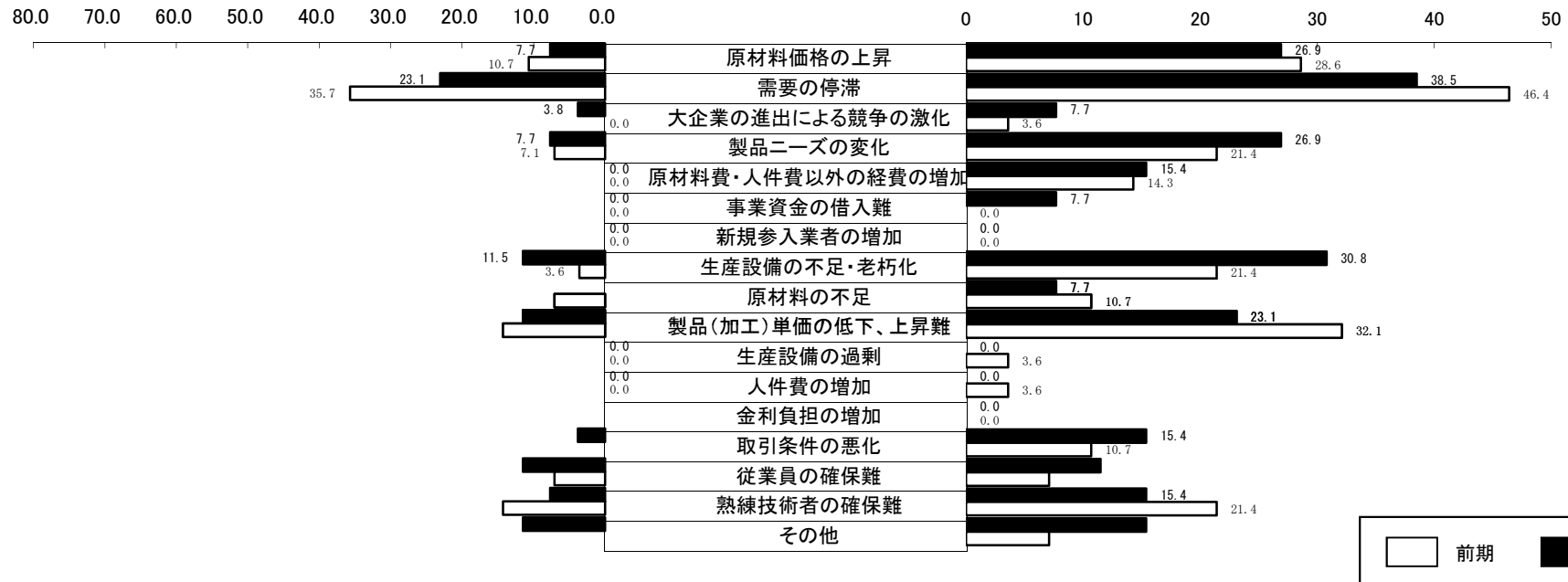
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

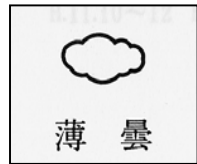
(目盛: %)



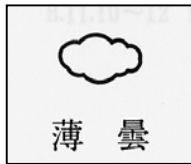
# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>



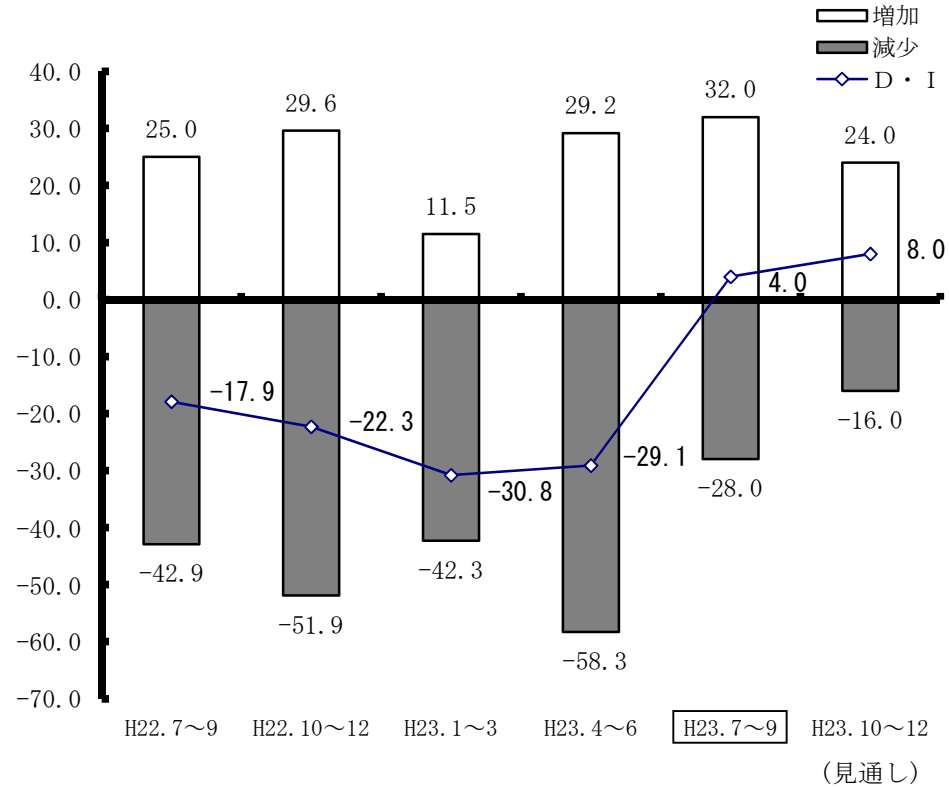
<来期見通し>



前期見通しでは、△24.0と予想しておりましたが、売上高増加企業が予想を上回ったほか、売上高減少企業も減少したことが寄与し、33.1ポイント上昇の、4.0となり、平成15年1月～3月期の調査時以降では、最も高い水準にまで回復しました。また、業況天気図も曇から薄曇へと移行しています。

来期は、売上高減少企業割合の更なる減少によって、売上高D・Iは、引き続き、4.0ポイント上昇して、プラス幅が拡大し、8.0となる見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

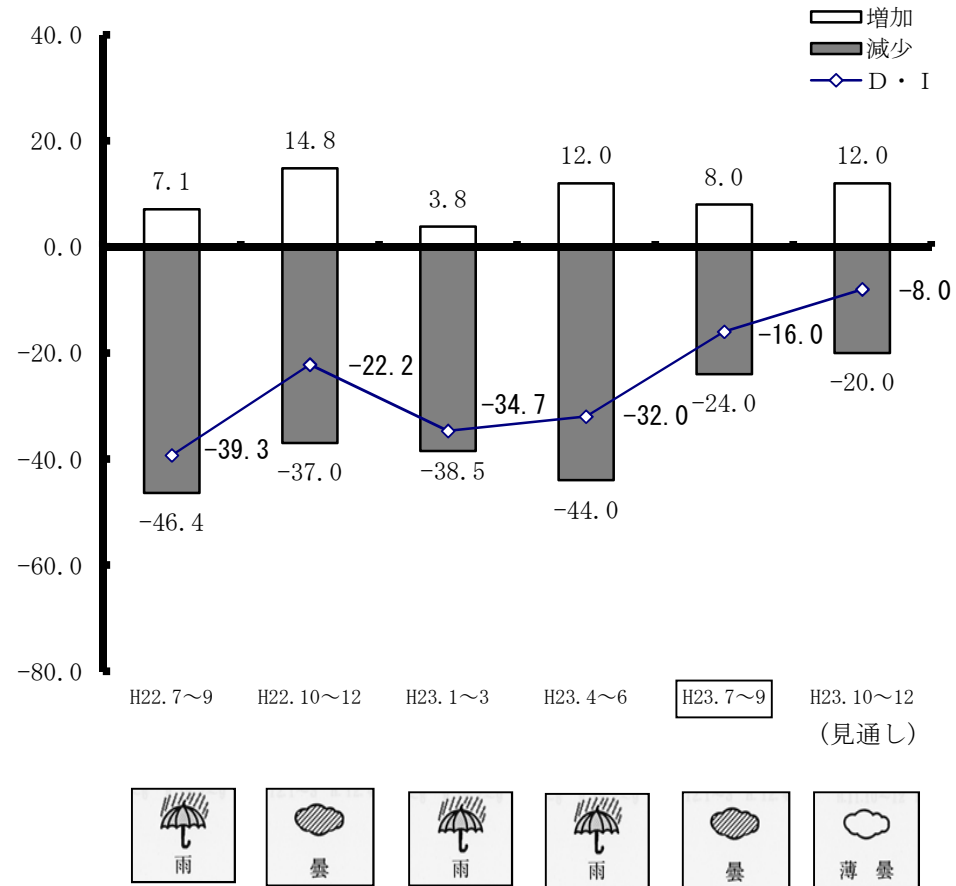


<来期見通し>



前期見通しでは、4.0ポイント下降の、△36.0となっていました。採算悪化企業割合の大幅な減少により、16.0ポイント上昇の、△16.0まで改善しました。

来期は、引き続き、好転企業割合の増加と、悪化企業割合の減少により、8.0ポイント上昇の、△8.0まで回復し、業況天気図も曇から薄曇へ移行する見通しです。

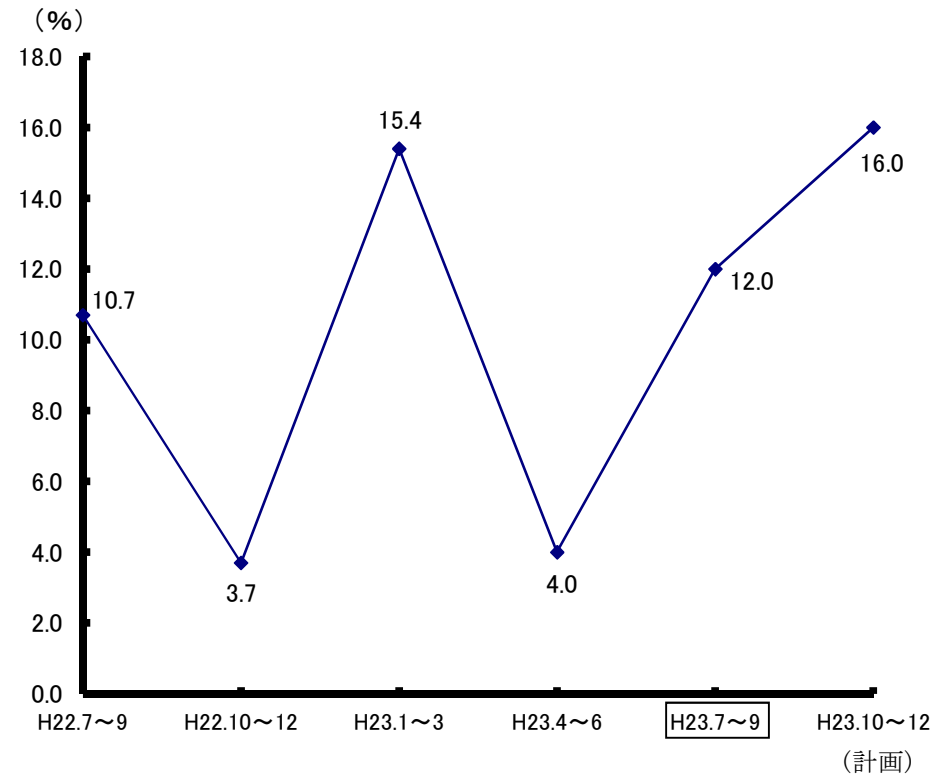


## 設備投資

前期見通しでは、横ばいの4.0%を予想しておりましたが、実際は、12.0%の企業で、設備投資が実施されました。

来期は、今期に引き続き、設備投資を予定する企業が増加し、16.0%となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

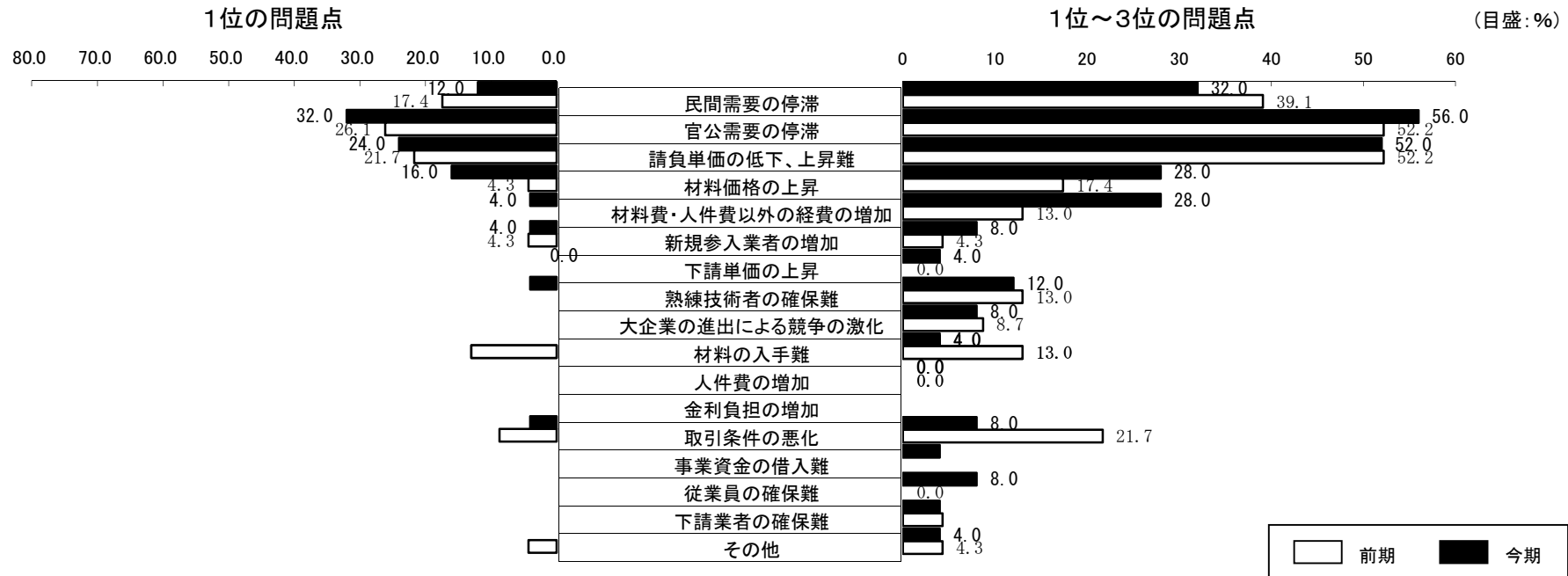


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

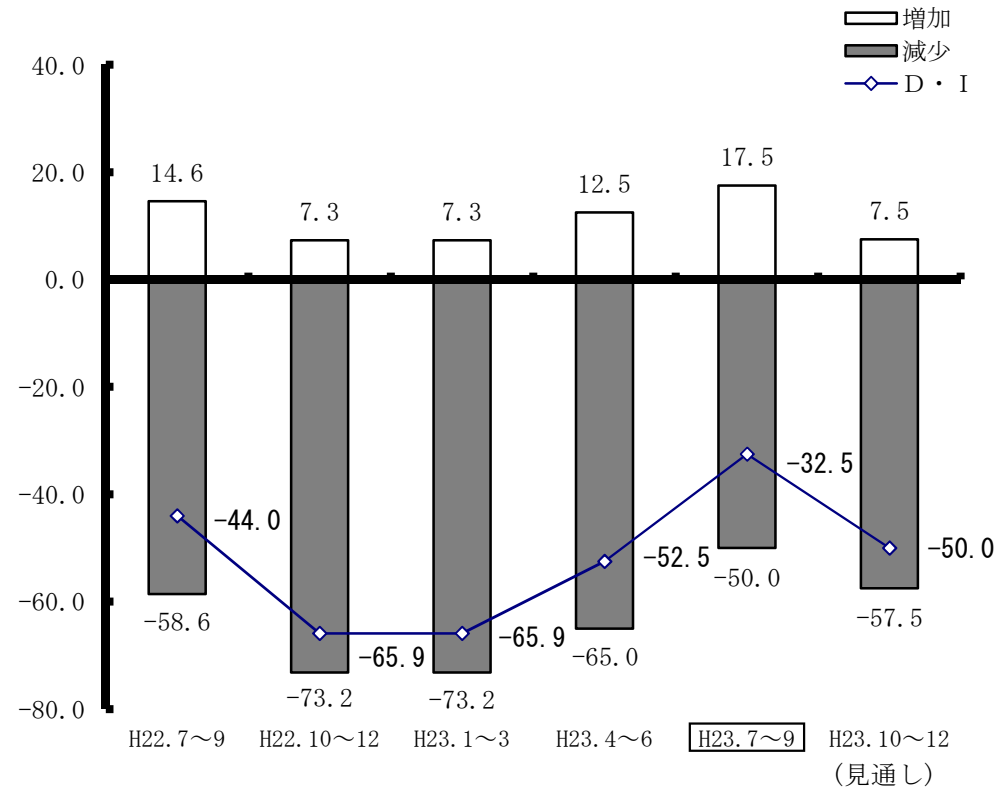


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の増加と減少企業の減少により、D・Iは、2期連続して大幅に上昇しました。また、マイナス幅も、平成15年1月～3月期調査時以来の数値にまで縮小しており、4業種の中では、最低のレベルではあるが、需要の回復傾向がみられます。

来期は、売上高増加予想企業の減少と減少企業の増加によって、D・Iは、再び下降し、17.5ポイント悪化の、△50.0になると予想されています。



# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

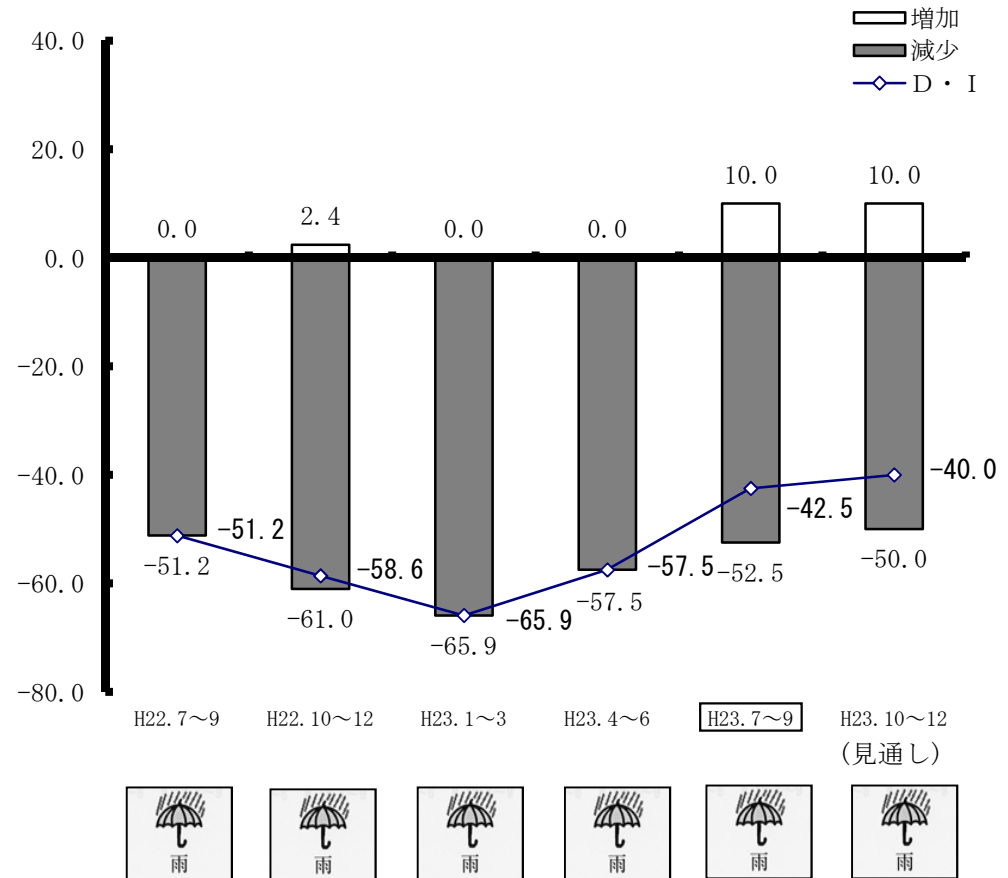


<来期見通し>



前期見通しでは、7.5ポイント上昇の予想でしたが、実際は、好転企業の予想以上の増加により、15.0ポイント上昇の、△42.5となりました。

来期は、今期に引き続き、好転が予想されており、2.5ポイント上昇の、△40.0となる見通しです。



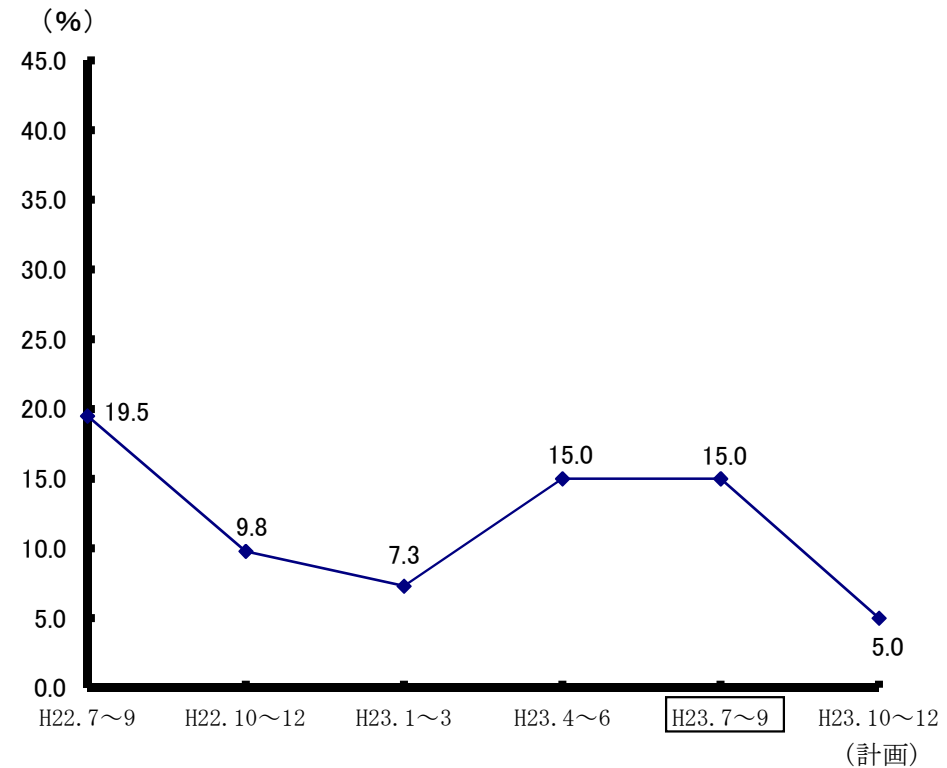


## 設 備 投 資

今期は、前期見通しの、7.5%を上回り、前期と同様に、15.0%の企業において、設備投資が実施されました。

来期は、再び10.0%を大きく下回り、設備投資を計画する企業は、5.0%にとどまる予想となっています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

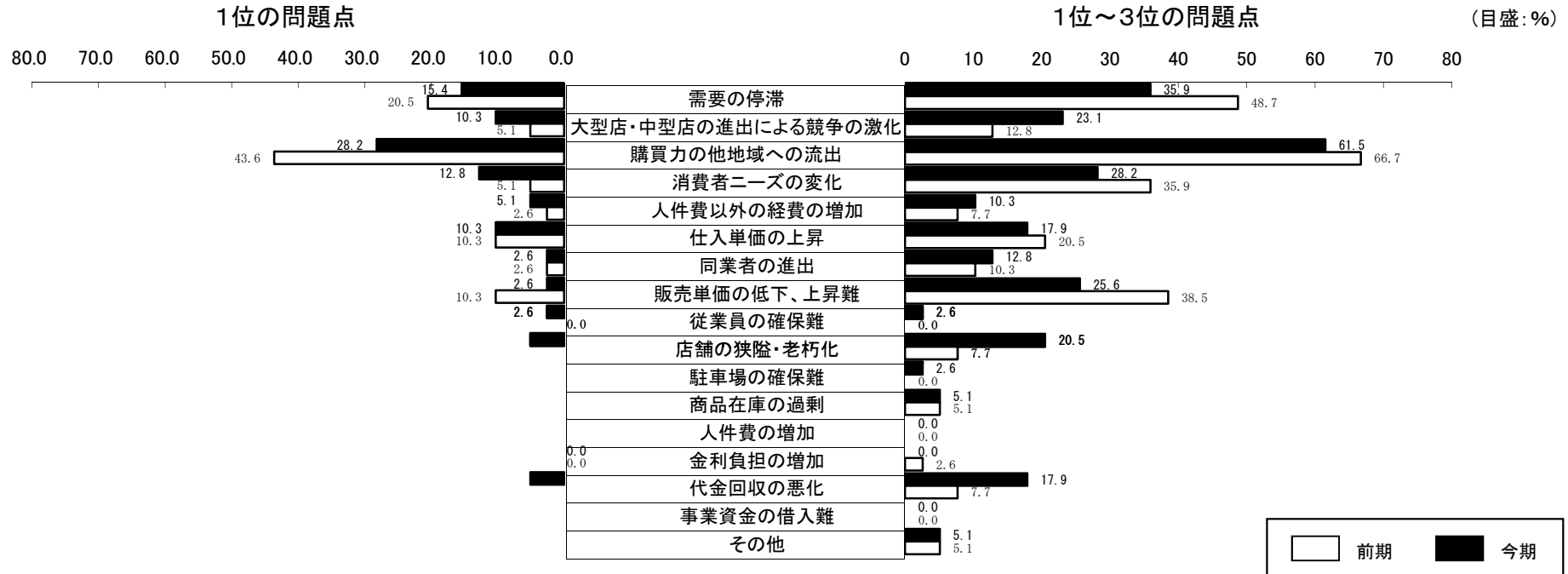


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

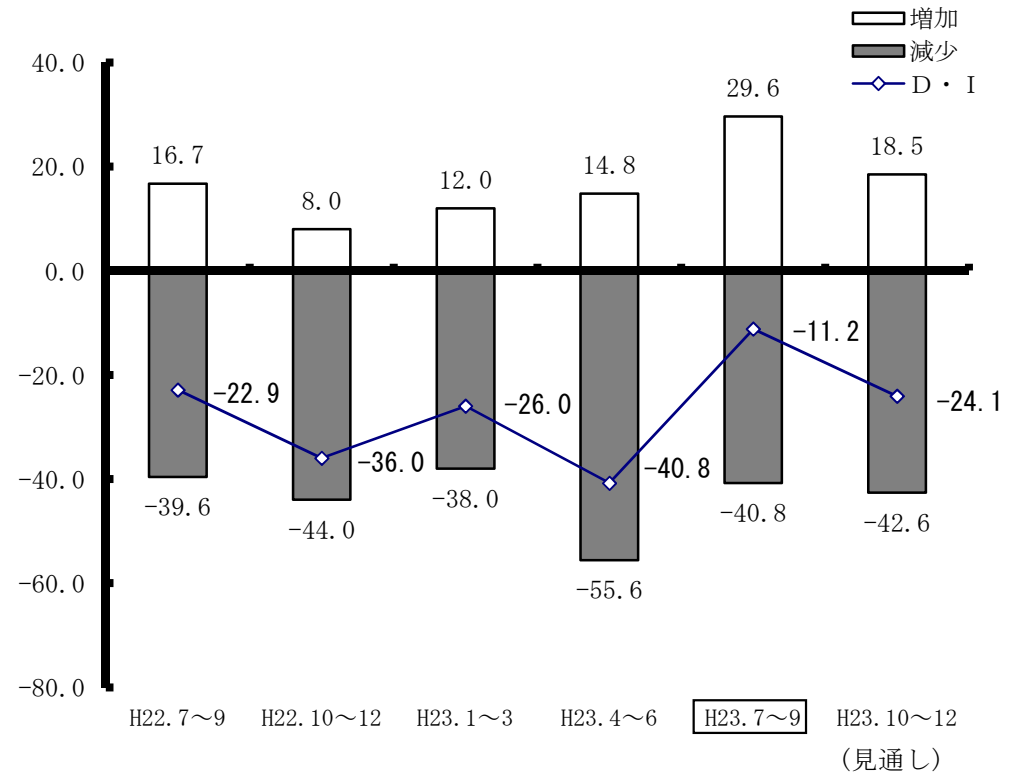


<来期見通し>



前期見通しでは、5.6ポイント上昇の予想でしたが、実際は、売上高増加企業が大幅に増加したことで、29.6ポイント上昇の、△11.2まで改善されました。

来期は、売上高の増加企業の減少が予想されており、売上高D・Iは、12.9ポイント下降の、△24.1となる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>



曇

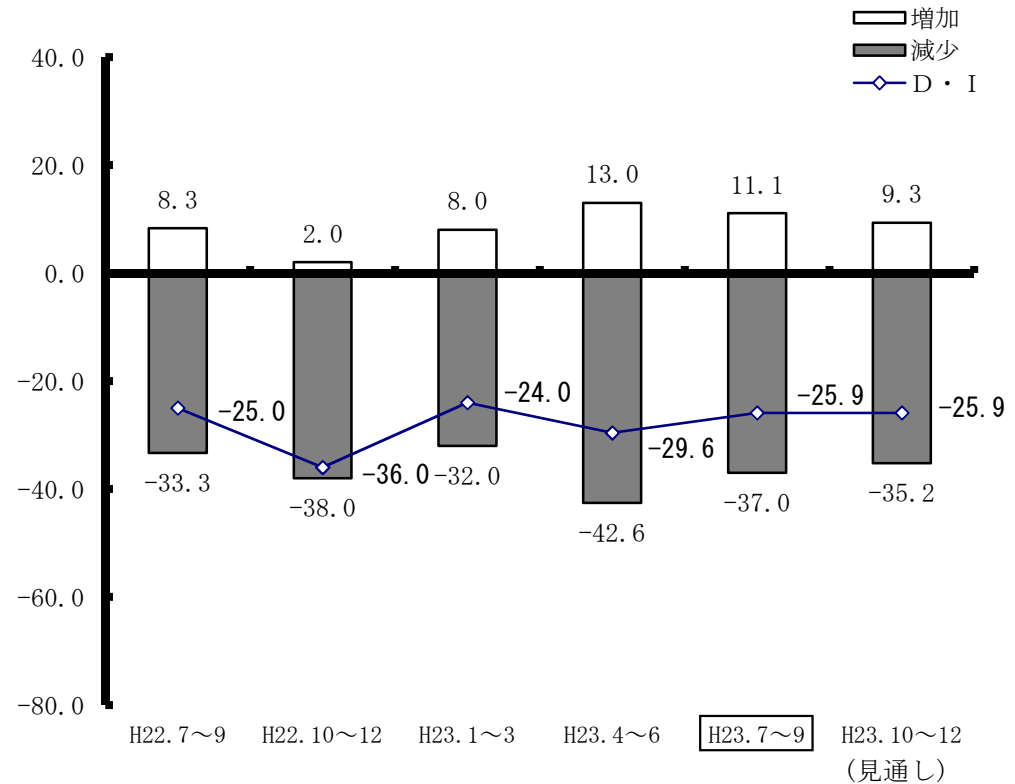
<来期見通し>



曇

今期は、悪化企業割合の減少が寄与し、前期より3.7ポイント改善され、△25.9となりました。

来期は、ほぼ今期と同様の状況が継続し、横ばいの、△25.9となる見通しです。



曇



雨



曇



曇



曇



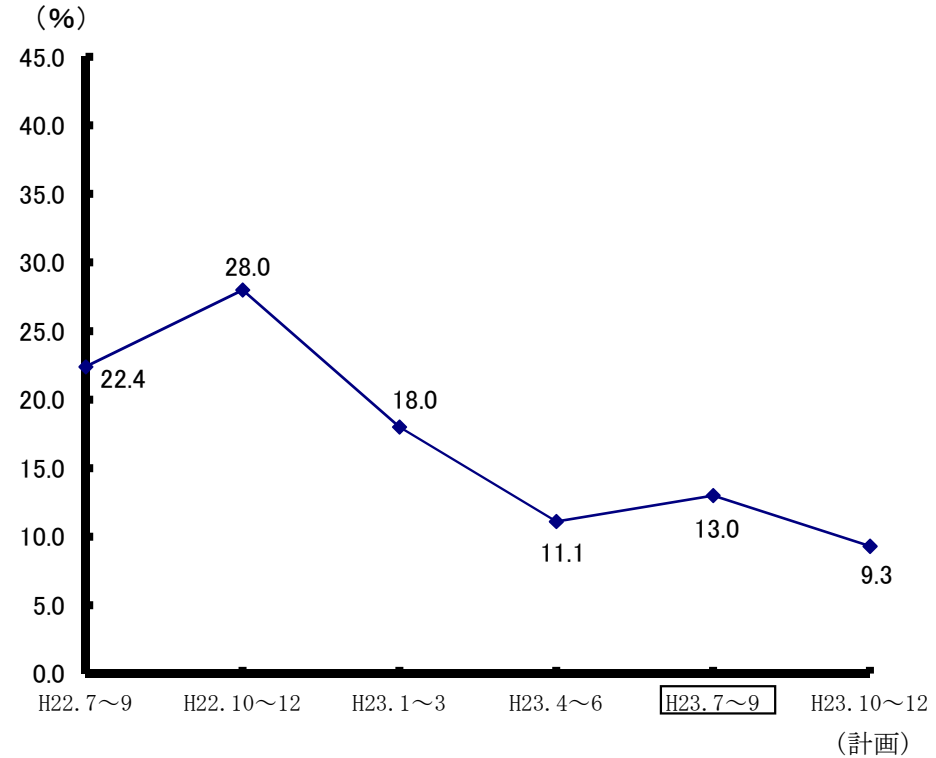
曇

## 設備投資

前期見通しでは、3.7ポイント減少の、7.4%にとどまる予想でしたが、実際は、1.9ポイント増加の、13.0%の企業が設備投資を実施しました。

来期は、設備投資を実施する企業が、再び10.0%を下回り、9.3%になると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

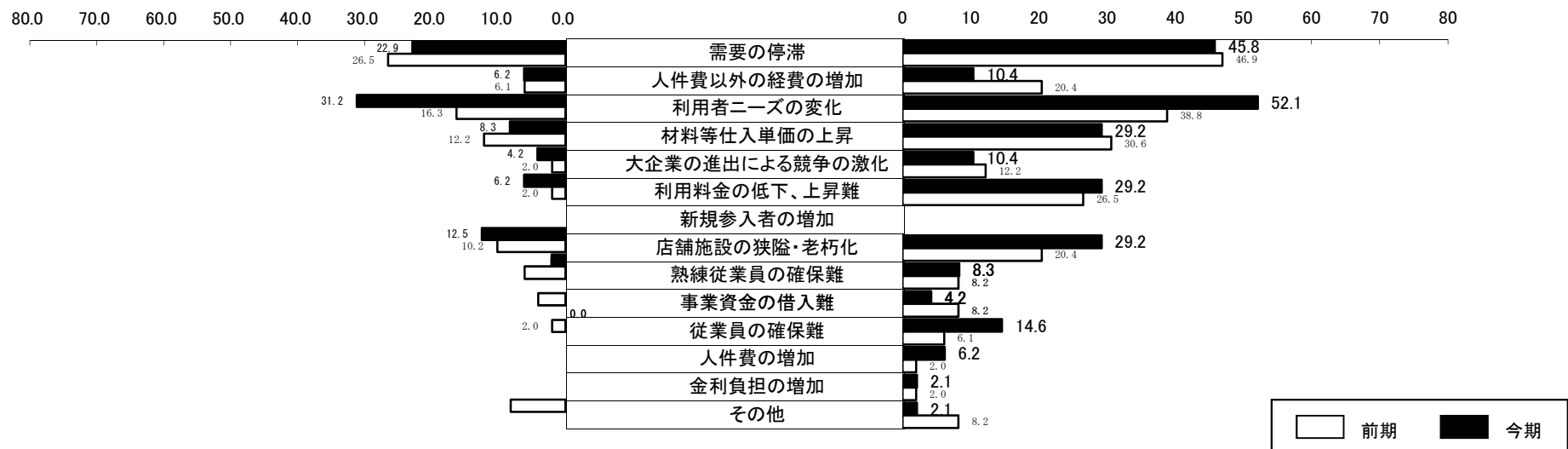
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

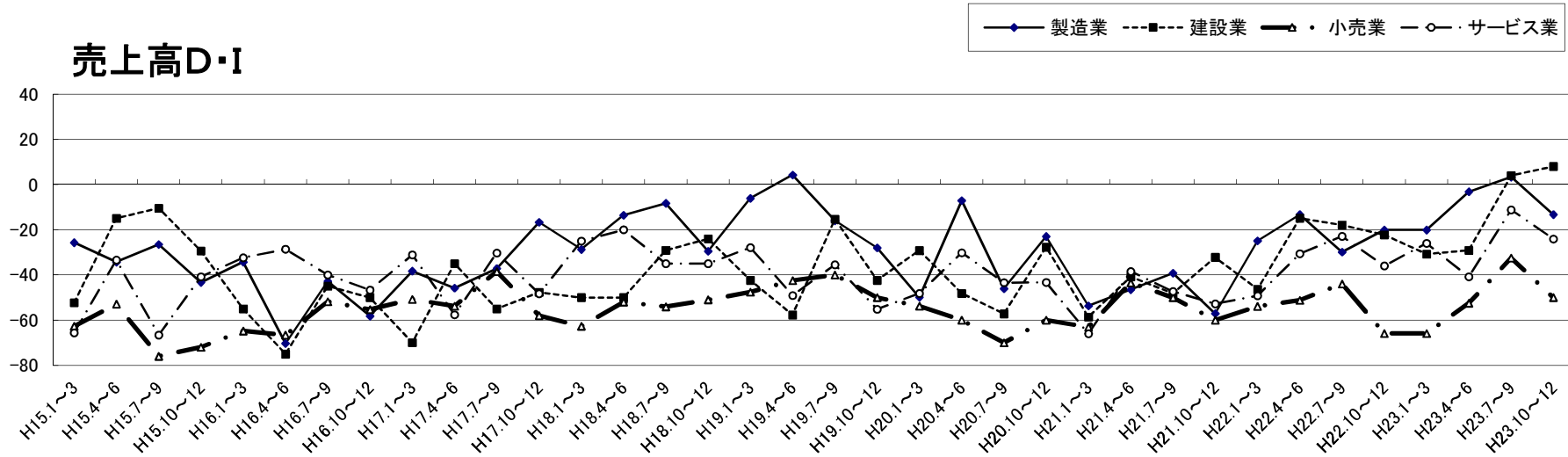
1位~3位の問題点

(目盛: %)

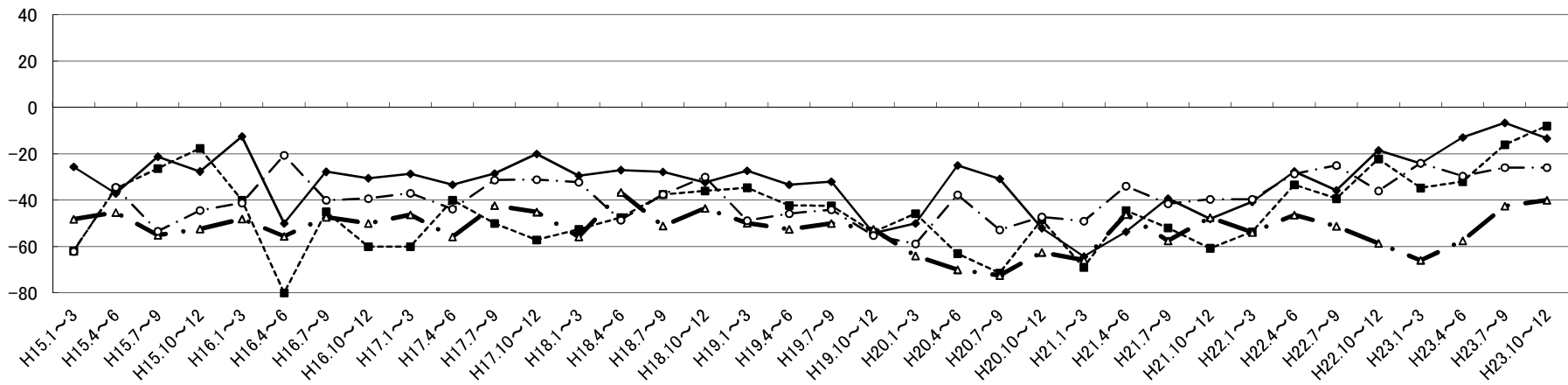


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料



# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成23年7月～9月を対象とし、調査時点は平成23年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		31 ( 20.7 )	30 ( 20.1 )	96.8
建設業		25 ( 16.7 )	25 ( 16.8 )	100.0
小売業		40 ( 26.7 )	40 ( 26.8 )	100.0
サービス業		54 ( 36.0 )	54 ( 36.2 )	100.0
		150 ( 100.0 )	149 ( 100.0 )	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。